

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんぱ



豊原音楽祭が12月17日(日)旧豊原小学校体育館にて開催され、子供から大人まで幅広く参加され、いろいろな楽器で奏でられた音色が会場中に響き渡りました。世代を超えて楽しめる素晴らしい音楽祭となりました。


JA中春別

2月号

2018 Vol. 481

1年間の経験を活かし、 これからの酪農経営へ

第9期
みらい塾
修了式

1月12日、平成29年度第9期生みらい塾修了式・平成30年度第10期みらい塾入講式が農業者団地センターで開催されました。

みらい塾の第9期生は初の女性のみ4人の受講生により、1年間にわたって講座を実施しました。牛舎仕事・家事・育児もあり、多忙な中20回の講座を開催し農協の組織、酪農技術、経営管理などについて学習してきました。

関係機関との繋がりを目的とし根釧農業試験



小湊塾長より修了証書を受け取る奥山優雅さん

場、根室農業改良普及センター、北海道酪農検定検査協会根室事業所、ジェネティクス北海道道東事業所、全酪連、ホクレン肥料(株)、NOSA I南部事業センター、(株)なかしゅんべつ未来牧場の方に講師を依頼し、現地研修や視察を行いました。



小湊塾長より修了証書を受け取る馬場絵里さん

当日は来賓がご臨席の



第9期生を代表して感謝を述べる大内友里さん

中、1年間の講義終えた修了生の4人は小湊保塾長より修了証書を授与されました。

その後、小湊塾長より「各関係機関の方々のご協力があり、この修了式を迎えることができました。1年間受けられた講義は何事にも替えられない財産です。これからの営農に役立ててください」と挨拶をいただき、続いて根室農業改良普及センター嶋野所長より「みらい塾で得た知識と人との繋がりを大事にしてください」とお祝いの言葉をいただきました。

修了生を代表して中春別地区の大内友里さんから

平成29年度 第9期みらい塾修了式



「酪農の基礎知識を得ることができました。関係機関の皆様、そして視察を受け入れてくださった農家の皆様にはとても感謝をいたします。本当にありがとうございます。

ございました。これからはみらい塾で学んだことを活かして、酪農の仕事に取り組んでいきたいです」と力強い言葉で挨拶がありました。

みらい塾を終えて…



奥山 優雅

い塾という勉強の場を与えていただいた方々に深く感謝申し上げます。

受講生は年の近い女性の方たちばかりだったこともあり、いろいろな話を講義の際にできて、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

みらい塾を通して、酪農に関しての知識、農協の仕事など、普段なかなか学ぶことが出来ないことから、農場や酪農に携わる会社の視察など、多くのこと

を見て聞いて学ぶことが出来ました。私が一番印象に残っているのは、農家さんの視察です。私は自分の家の農場の事しか知らなかったの、自分の家の酪農が基準となりそれが当たり前だと思っていました。ですが、いろいろな農家さんを

視察させていただいて、哺乳の仕方・育成の管理・餌のやり方・搾乳の方法にまでいろいろな考え方があり、やり方は1つだけではないということを知りました。

た。どの農家さんも、当たり前のことをきっちりしている上で、試行錯誤をしながら自分の牧場に合うやり方をしていのだと思えました。どの経営者の方も参

考になる取り組みや、勉強になるお話しを聴かせていただき、自分の家で出来ることは何か、家族と話すことも良い機会になりました。酪農は決して楽な仕事ではないと思います。ですが、みらい塾で学ぶ中で大変さはもちろん、やりがい

や楽しさ、そして魅力のある仕事だということも再認識しました。農協の方々はじめ、たくさんの方々を支えがあり私たち酪農家の経営が成り立っていることもわかりました。これから

も勉強会や視察に積極的に参加し、多くのことを勉強していきたいと思っています。お忙しい中、講義をしていただいた農家さん、農協の皆さん、講師の皆さん、杉本さん、木下さん本当にありがとうございました。

みらい塾で学んだ1年間



馬場 絵里

みらい塾での1年間は、長いようであつという間に過ぎていきました。私が受講しようと思ったきっかけは、営農担当の方からお話をいただいた今回は全員が

女性であり、情報交換したかったのと、なかなか酪農のことを自ら進んで学ぶ機会もないので知識を増やしたいと思い、入塾を決めました。

みらい塾ではたくさんの方の事を学びました。酪農に関することはもちろん、農協組織のこと、関係機関や様々な規模の農家さんへの視察、チーズ作りも学びました。

全酪連釧路支所とホクレン肥料への視察では、えさ

や肥料の原料はほとんど海外から仕入れられているというところ、えさはお米や大豆粕などいろいろな種類があり、それらを農家さんの依頼ごとに混ぜていること、

みらい塾ではたくさんの事を学びました。酪農に関することはもちろん、農協組織のこと、関係機関や様々な規模の農家さんへの視察、チーズ作りも学びました。1番衝撃的だったのは牛の胃の部分に穴が開いて

いて、中の様子が見られ実際に手も入れることが出来たことです。ギガファームさんは牛の月齢ごとにステージが分けられていて、どの場所も清潔に保たれていました。牛を大事にし、

また動線がきちんとされていて皆が仕事しやすい環境でした。農家さんへの視察では、乳質や経営の良い牧場には共通点があり家の周りや牛舎の中が整理整頓されていて、気持ちよく仕事のできる環境だと思いまし



た。特に菅原さんの牧場は女性目線でいろんなお話ができ、参考にしたい部分がたくさんありました。

後半は出産、育児のため参加することができませんでしたが、自分の家の牛舎や牛の事しかわからなかったので今回様々な農家さんへ視察できたことは本当に良い経験になりました。繁殖や乳房炎、牛の病気のこ

みらい塾を終えて



長沼 真奈美

私が未来塾を受講した理由は、牛の事について学べる、酪農家の仲間作りや普段できないチーズ作り体験などをさせていただけるということからです。私は酪農の素人なので牛の基本的なことなんてなくわかっていただけだったので、今

と、牛の体の仕組み、メンバ―それぞれの牧場と比較して意見交換ができたこと。どんな小さな仕事でも意味があり、それが良い牛を作るためにつながっていく等たくさん事を学べ、自分の意識も変えられる良いきっかけにもなりました。

酪農はあまり良いイメージがありませんが、知れば

回、受講したことにより牛に良い接し方、牛の基本的なこと、病気のことなど教えていただきとても勉強になりました。

病気などは早期発見、早期治療が重要になってくると思うので、すぐに異変に

気づける様に日々の牛の状態観察が大切だと思いました。特に身近な乳房炎、出産で気を付けること、牛が快適に感じる環境作りなども知ることができて良かったです。少しずつ牛の環境も良い方向に変えていけたらなと思いました。

また、農協の仕組みや経

知るほどおもしろく、楽しいし頑張った分だけ結果の出るお仕事だと思います。私はまだまだ経験も知識も足りなく、旦那さんやお父さん、お母さんに頼ってばかりですが、みらい塾で学んだことはこれからの仕事に役立てていきたいと思えます。

この1年間本当にたくさん

の貴重な経験をさせてい営のことなどいろいろなことができました。ただ農業簿記は理解するのが難しかったです。未だによくわからないですが、今後、農業簿記をやるのがあればもう少し勉強したいと思っています。

チーズ作りは工程が多く、温度の管理が大切に繊細な作業でしたが、とても楽しかったですし、出来上がったチーズも売られているのとは少し味も違い、美味しかったです。

今回は初めて女性のみ未来塾ということだったので、今までの受講内容とは

りがとうございました。

ただきました。仕事、育児、家事をしながらのみらい塾は大変な時もありましたが、素敵なメンバーのおかげで毎回楽しく受講することができました。みらい塾に携わっていただいた農協の方々をはじめ、講義をしてくださった関係機関の方々、普及所の皆様、視察を受けてくださった農家さん、皆さん1年間本当にあ

少し変更があり、受講生の意向も沢山聞いていただき、充実した内容だったと思います。普段は自分の所の牛舎以外見たことがなかったのですが、視察に行けたのもとても楽しかったです。見たことない機械も見たり、お話も沢山して下さり、それぞれのやり方の違いなども聞いていて興味深かったです。

受講することによって沢山のことを学べました。それを活かせるようにして、わからないことはまだまだ沢山あるので、少しずつ学んでいきたいと思っています。



受講生の皆様とも楽しく勉強することができ、近況を報告しあったり充実した時間でした。

今回、このような機会を下さりいろいろなことを教

えていただいた農協、共済、普及所、視察を受け入れて下さった牧場の皆様、1年

間本当にありがとうございました。

1年間のみらい塾



大内 友里

私にとってこの1年間はとても貴重な時間でした。一昨年、別海町に引っ越してきて子牛のお世話を主にしていました。基本的な仕事の流れのことしか分からず、何か問題が起きても原因も対処方法も分からない状態でした。そんな中、馬場さんからみらい塾へのお誘いをいただきました。様々な牧場や工場の視察、講義の参加を月に1、2回することで徐々にいろんなやり方があることを学びました。どの農家さんも経営者の方の方針があつて作業効率であつたり、牛へ

の負担軽減を重視されていたりと当たり前前のごです。が、考え方の違いでメリツトも変わってくるのが興味深かったです。牛への接し方、良い牧草がどのようにして作られ牛に影響していくのか、妊娠から分娩までの大切なポイントなど、働いているだけでは学べないこともたくさんありました。酪農の本を読むだけでは専門用語ばかりで難しく、講師の方にその場で質問できるのは良い機会でした。経営のことはまだまだよく理解できていない部分があります。そこはこれから牛の仕事にたくさん関わっていくことで経験を積み、考えられるようになることから始めたいです。

この1年、特に私が勉強になったことは子牛のお世話に関する事で、生まれてからの気を付けるべき点、母牛からのミルクの大

切さや管理の仕方、衛生面から病気をしたときの対処方法はとても参考になりました。自分の牧場の子牛が弱っていくのを何も考えられずにただ報告するのではなく、寝床を掃除し、他の牛へ感染しないように気を配ることが出来るようになったのはみらい塾のおかげでもあり、自分で少し成長できていることが誇らしかったです。みらい塾に入講した頃より知識も増え、仕事に取り組む姿勢も良くなったと家族から認められるようにこの経験を大事にしていきたいです。

今回初めて女性だけのみらい塾でしたが、女性の立場で勉強に参加していく機会というのなかなか難しく、仕事と家事と育児の毎日、楽しい集まりが出来たことは喜ばしいことだと感じました。男性のような力もなく、女性はサポート



第10期

みらい塾
入講式

酪農の基礎知識・技術を学び、 将来の経営に役立てていきたい

第9期生みらい塾修了式終了後、平成30年度第10期みらい塾入講式が行われ、新たに第10期生として学ぶ3人が紹介されました。



第10期みらい塾生として入講式に臨む3人



「将来の経営に役立てたい」と入講式で抱負を述べる佐々木淳司さん

小湊塾長の式辞と草刈根
釧農業試験場場長の激励の
言葉をいただき、第10期生
を代表して中春別地区の
佐々木淳司さんより「この
1年間、みらい塾を通して
農協の仕組みや酪農の基礎
知識、酪農技術について学
び酪農に精通し、将来の経
営に役立てていけるように
していきたいと思えますの
で、関係機関・農協職員の方
の皆様には、ご指導、ご鞭撻
のほどよろしくお願い致し
ます」とこれからの意欲を

平成30年度 第10期みらい塾入講式



語っていただきました。
その後、第10期生は昼食
を挟み、団地センター研修
室でオリエンテーションを
行い、館内営農部長から受
講に当たっての心構えと講
座についてのスケジュール

等の説明を受けました。
第10期みらい塾は今後、
受講生の意見を積極的に取
り入れた講座を実施してい
きたいと考えております。

第10期みらい塾プロフィールを紹介します

中春別地区



名前 **佐々木 淳司**

(ささき じゅんじ) (33歳)

佐々木幸雄組合員

生年月日

昭和59年6月9日

▼みらい塾に応募したきっかけ

最低限の知識などを身に付けたいと思ったため

▼趣味

食べることに

▼好きな言葉

「郷に入っては郷に従え」

▼将来の夢

怪我、病気などをせず、平凡でもいいから暮らしていくこと

▼皆さんに一言

足を引っ張らないように頑張るのでよろしくお願ひします。

美原地区



名前 **山田 侑甫**

(やまだ ゆうすけ) (31歳)

山田ひろみ組合員

生年月日

昭和61年2月26日

▼みらい塾に応募したきっかけ

ある方に強く勧められたから

▼趣味

音楽、スノーボード、ゲーム、DJ、映画

▼好きな言葉

「暇」

▼将来の夢

長者番付に入ること

▼皆さんに一言

よろしくお願ひします。

豊原地区



名前 **奥山 頌平**

(おくやま しょうへい) (31歳)

奥山和組合員

生年月日

昭和61年9月26日

▼みらい塾に応募したきっかけ

様々な農家、企業等を知るため

▼趣味

スキー、自転車

▼好きな言葉

「なんとかなる」

▼将来の夢

たくさんの人を集める

▼皆さんに一言

別海、農業においてすべてが初心者ですが、頑張りますのでよろしくお願ひします。



地域と一丸となって農業の 活性化に向けた一年に

JA中春別
青年部新年交礼会



多くの青年部員、来賓の方たちの出席のもと盛大に新年交礼会を開催しました

新年を迎え、農協より小湊代表理事組合長をはじめとする多くの来賓の方々、中春別酪農対策協議会より伊藤会長にご出席をいただき、青年部新年交礼会を1月10日(水)に北平系会館にて盛大に開催いたしました。

開催にあたり野矢青年部長、小湊代表理事組合長より新年のご挨拶をいただき、伊藤会長の乾杯の音頭



新年の挨拶を述べる
野矢貴志青年部長



新年の祝辞を述べる
小湊代表理事組合長



和やかな雰囲気の中、理事の方々と雑談を交えながら新年会を楽しみました

で開会いたしました。乾杯と共に食事を楽しみながら、部員同士やご出席いただいた来賓の方々と、日々の営農や酪農情勢といった仕事の話や、「小学校



乾杯の音頭をとる
伊藤酪農対策協議会会長

への食農教育事業ができて良かった」と今年度の青年部活動について、「いつ結婚式を挙げるの?」と言ったプライベートな話に華を咲かせ、終始賑やかな雰囲気にも包まれ、会話を楽しんでいました。
最後に山田副青年部長より青年部活動を通じた農業・地域の活性化を祈念し、一本締めで新年会の幕は閉じました。

新年最初の行事は、笑いの絶えない 素敵な時間となりました

J A 中春別
女性部新年交礼会

別海町郊楽苑にて1月18日(木)に女性部新年交礼会が開催されました。農協より西川副組合長理事をはじめ、酪対より伊藤会長を招いての交礼会となりました。



挨拶を述べる齋藤道子女性部長

部員22人が新年の挨拶を交わし、豪華なごちそうを前に西川副組合長理事より挨拶をいただき、伊藤会長の乾杯で新年会がスタート。

食事がひと段落したところで恒例のゲーム大会が始まり、値段当てゲームでは正解の数十円差まで迫る回答が！普段から面白い物で値段を見極める力のある奥



祝辞を述べる西川副組合長

様たちの接戦となりました。

また、恒例のビンゴゲームでは全員がハズレなしで景品を獲得することができました。新年交礼会終了後も楽しい話に花を咲かせる方たちがあり、新年最初の行事は笑いの絶えない素敵な時間となりました。参加された皆さんお疲れ様でした。



新年交礼会は笑いの絶えない楽しいひと時を過ごしました



昨年草地更新は天候にも恵まれ順調に作業が進み、12月5日には、約30cmの大雪により畑が雪で覆われ安心しておりましたが、12月25日に季節外れの大雨が降り、畑の雪が融けて水溜りが凍結し、アイスシート状態となっていたことから調査を実施しました。

アイスシートの大きさは圃場に対し5~10%、氷の厚さは10~20cmになっており、ツルハシを使い、アイスシート下部の草地の植生状態の確認を行いました。確認したところ、大半が良好でありましたが、一部水流れの場所のみ、不良の場所もありました。通常の雪で覆われている草地はほとんどが良好でした。

ここ数年では気温の上昇により12月に雨が降ることは多々あります。アイスシートの発生は冬枯れを引き起こし、融凍後の5月上旬の萌芽期に大きく影響します。冬枯れへの技術対策として、いくつかの方法があげられます。

アイスシート の状況の確認

1月17日(水)草地のアイスシートの状況確認を行いました。



○冬枯れ発生抑える

アイスシートの形成を抑える対策として、排水面に着目します。計画的に明渠・暗渠の管理をすることで、草地の排水不良の改善が図れます。草地管理の一環として、最終収穫後のサブソイラー掛けも重要とされています。

○冬枯れが発生した場合

冬枯れが発生した場合、被害状況に応じて対策は変わります。対象草地の枯死面積割合が5~30%未満と被害が軽い場合は、通常の春施肥を実施して、再生による植生の回復を待つ方法があります。一番草の刈り取りは、株の充実を図るために出穂期を目安にやや遅刈りにすること、また、冬枯れの程度に応じ、5~20%の減収を覚悟し、不足分は購入飼料で対応する方法もあります。

対象草地の枯死面積割合が30%以上と被害が大きい場合は、被害部分をロータリーハロー等で浅く攪拌し、一度鎮圧後、施肥・播種し、再度鎮圧して仕上げる方法があります。一番草の刈り取りは、更新部分の掃除刈りを兼ねて、7月中旬に実施すると一番草収量はかなり減収となるが、二番草以降は更新効果が期待できます。

II フリーストール・ミルクング パーラー編

～飼槽からベッドまで移動を邪魔されず、弱い牛もエサを食べられる環境を～

フリーストール牛舎での牛の採食環境の特徴は、牛が自分で歩いて、飼槽、水槽、ベッドの間を歩き来する、ということです。この一連の移動行動が制限されると、乾物摂取量が制限されることになります。そして、寝起きしやすい快適なベッドを提供することが牛の採食意欲の低下を防ぐことにつながります。以下の3つの観点からチェックしてみましょう。

構造的なものは後で対処するのは困難です！ 建てる前、計画段階でチェックしましょう！！

構造的な注意点

すぐにできる改善点

☆牛の行動を妨げない

・採食通路幅は、採食している牛の体長 + 2頭の牛が十分に余裕をもってすれ違える幅 (3.9 ~ 4.2m程度) にし、袋小路 (行き止まり) を作らない。

・横断通路幅は飲水している牛の体長 + 2頭の牛が余裕をもってすれ違える幅 (3.3 ~ 3.6m程度) にする・横断通路の高さは、除糞作業を考慮しつつ可能な限り低く (最大 20cm程度) する

・滑らないように、目地を施工するか通路用ゴムマットを敷設する。

採食行動を観察✔こんな牛はいませんか？



飼槽幅が少ないため、ただ順番待ちしている牛はかわいそう！十分なスペース確保が難しい場合、エサの掃き寄せ回数を増やすなどして、すべての牛が腹一杯食べられる様工夫しましょう。

☆競争を減らす

・牛が一斉に食べられる1頭あたりの飼槽スペースを確保する。(搾乳牛では飼槽幅は最低でも60cm/頭は必要)

・水槽はストール13~15個おきに設置する。
 (水面の高さは75~85cm程度。掃除しやすい構造にすること。)

・搾乳後、パーラーから帰って来た時には、飼槽にエサがあるようにする。

・全頭が食べはじめてから30分を目安にエサの掃き寄せをする。(食い負け牛を作らない、エサが口に届かなくなる前にエサ寄せするタイミングにする)

☆快適性の確保

・休息したくなるベッドになっているか？ (何の障害もなく起き上がる動作ができますか？牛体をどこにもぶつけずに体を床面に下ろす動作ができていますか？) ストール構造、敷料の入手法については事前に良く検討すること。

・全頭が食べはじめてから30分を目安にエサの掃き寄せをする。(食い負け牛を作らない、エサが口に届かなくなる前にエサ寄せするタイミングにする)

・牛床マット、暑熱対策換気扇等の導入計画は早目に検討する。

生産性の高い牛づくりを目指して

1月19日(金)、白樺食堂において第30回中春別乳牛改良同志会定期総会が行われました。



スムーズな議事進行がされました

総会の開催を前に平成29年度新規エクセレント獲得並びに特別賞授賞式が行われ、新規エクセレントを獲得された山田光男さん、橋本幸二さん、宗像宏充さん

所有の牛が表彰されました。続いて特別賞として2017北海道ホルスタインナショナルショウJサイア3歳クラスで1等1席を獲得された寺澤佳吾さん、府



小湊代表理事組合長より挨拶

県においてエクセレントを獲得した牛を繁殖された山田ひろみさん、竹田潤さん、中西貴司さんが繁殖者賞を受賞され、それぞれ記念品の贈呈が行われました。総会の開催にあたり竹田会長より一年を振り返り、新年度に向けた挨拶が述べられました。引き続き農協



特別賞授賞式の様子

をしてきました。各種ショウや共進会において中春別ホルスタインが活躍し、日頃の乳牛改良の成果としても新規エクセレント3頭を含む累計2

を代表して小湊代表理事組合長、来賓の方々を代表して(一社)ジェネティクス北海道東事業所所長の藤田功様より、ご祝辞をいただきました。議長には中春別地区の佐々木靖裕さんが選出され議案第1号から議案4号まで可決承認されました。

昨年度の各事業として乳牛改良技術のさらなる向上を目指し「視察研修会」、「講習会」などが開催され、「管内バーンミーティング」や「育成に関する講習会」へ参加



宴会裏に終了しました

29頭となりました。さらに強く安定的な酪農経営を図るために長命連産に優れ、能力と体型のバランスが取れ生産性の高い改良を進める活動を展開していきます。総会終了後、懇親会が行われ、会員及び関係機関の方々との親睦が続ぎ盛会のうちを終了することができました。



第35回 未経産クラス (16 カ月~20 カ月)

写真コンテスト結果発表

中春別乳牛改良同志会(竹田潤会長)主催で行いました第35回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けを全国酪農業協同組合連合会の角田忠嗣さんをお願いし、正解は、**D→E→C→F→B→A**となりました。

残念ながら全問正解者はいませんでした。抽選の結果、小林くるみさん、能登琉花さん、石森真由美さん、川村柚月さん、中西玲子さん、長野あいりさん、藤原香さん、菅野律子さん、中西裕哉さん、小林昴さんに賞品を贈呈致しますのでJA中春別畜産課までおこし下さい。

《講評》

未経産クラス6頭の講評ですが、序列はD→E→C→F→B→Aとさせて頂きました。

トップにさせて頂きましたD号牛ですが、この6頭の中で最も雌牛らしい質感をもっており、雌牛らしい気品を持った輪郭鮮明な顔、首の長さ、薄さ、締めりの良い骨質を持った素晴らしい牛であり、今回のトップとさせて頂きました。

D号牛とE号牛の比較ですが、バランスの良いE号牛よりも首の長さ、薄さ、伸び伸びとした体長、各部の

鮮明さにおいてD号牛の方が優れていると判断致しました。

E号牛とC号牛の比較ですが、より体高、体長のあるC号牛ではございますが、E号牛の方がよりしなやかな骨質を持っており、正確な尻の構造、鮮明な飛節といった部分でE号牛の方が優れておりました。

C号牛とF号牛の比較ですが、C号牛は若干写りが悪く見えますが、F号牛よりも体高、体長、より強い胸を持っており各部の鋭角性、鮮明さにおいてC号牛の方が優れていると判断致しました。

F号牛とB号牛の比較ですが、B号牛の方がより力強さを持っていることは認めておりますが、今回の状態において、各部の鮮明さ、骨質においてF号牛の方が優れていると判断致しました。

B号牛とA号牛の比較ですが、体長、首の長さ、薄さ、後肢側望においてB号牛の方が優れていると判断致しました。

この度は私のような未熟者に審査講評させていただく機会をいただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。審査講評をさせていただくのも初めてであり、今回の経験を活かし今後の糧として精進して参りたいと思います。

1位 D



2位 E



3位 C



4位 F



5位 B



6位 A



12月5日(火)平成29年度別海町文化功労者表彰式が開かれ、春別地区・高橋徳正氏が文化奨励賞を授賞されました。

書く努力と技術・知識が認められる

高橋徳正氏

別海町文化奨励賞を受賞



別海町文化功労者表彰式に緊張した面持ちで臨む高橋徳正氏

高橋さんが30代の頃、佐々木善直(中春別地区)さんに誘われて書道教室に行ったことがきっかけで書道を始めました。最初は「年賀状を自筆で書けるようになろう」という目標から始まった書道。書道から距離を置いた時期もありま

したが、30年以上通い続け、平成8年4月には書道サークル「中春別墨友会」を結成し、代表に就任。同年5月には「第31回北海道書道展」で入選を果たし、これを皮切りにその後も数々の書道展で特選、秀作賞を受賞。中でも、平成28

年の「第57回道東書道展」では会友の中で最高位である大賞を受賞し、審査会員への昇格をするなど、書道家として、たくさんの輝かしい実績を残されました。

高橋さんは今回の授賞について「文化奨励賞に選んでいただき、書道家として自分が努力してきたことを別海町に認めてもらえて、とてもうれしい」と喜びの言葉をいただきました。

「自分の作品に満足はしていない。今でも臨書を使うようにして、常に書く努力はしている。積み上げた技術や知識を活かし書きたいように書く」と、輝かしい成績を残してもなお、自身のレベルに満足することなく、努力を怠らないひたむきな姿勢や書道に対する思いを語ってくださいました。

また、今後の書道の活動について「会員に昇格した今、グランプリの受賞を目指したい」と書道展に向け新たな目標の抱負を話す高橋さんでした。



○守破離

それぞれの道に対する段階を示したものの。「守」は、人の教えや動きを真似、忠実に型などを身につける段階。「破」は、身につけた物にさらに磨きをかけ、心技を發展させる段階。「離」は、自分らしきを出す。独自性を發揮する境地であり、段階である。そのためにも努力が欠かせない。



○無一物

無の心情。何も無いこと。



○比翼連理

夫婦の仲の睦まじいことのとえ。夫婦の愛の深さ



地域の絆
音楽でつながる...



第9回豊原音楽祭が12月17日(日)旧豊原小学校体育館で開催されました。

今年で9回目を迎える豊原音楽祭。当日は保育園児から小中高生、地域の酪農家、学校の先生、JA職員など豊原に縁のある方が幅広く参加しました。

保育園児たちのハンドベルによる「ドレミのうた」では、サンタさんの衣装に包まれたかわいい我が子を撮影するために、会場の前列はカメラを持ったお父さん、お母さんでいっぱいとなりました。

飯田先生によるソロギター、中春小リコーダー同好会による全道大会への出場

曲、ピアノ演奏や先生方によるピアノ連弾、JA職員によるサクソファン、サンブルが披露され、

様々な音色が会場中に響き渡りました。

後半では、男女2人組による弾き語りや、メンバー全員が女性のガールズバンド「スマイル」の演奏。最後の曲ではサンタクローズがサプライズで飛び入り参加をして、会場は盛り上がり。終盤には、豊原の若者で結成された「チーム響」による和太鼓演奏で「響青乱太鼓」を披露。大迫力の力強い太鼓の音色が会場全体に響きました。

最後には、大人気のオオカミ覆面バンド「MOM」の演奏。圧巻の演奏に、会場が引き込まれ、大盛況のまま第9回豊原音楽祭が幕を降ろしました。参加された皆様お疲れ様でした。





JAバンク
北海道

春のワクワク

もらエール

キャンペーン

がんばるみんなに、
フレーフレー!



2018

2.1(木)

⇒5.31(木)

©ちよリス

給与口座で!

JAで給与受取口座を新たにご指定いただくと応募者全員に



※QUOカードのデザインは異なる場合があります。



JAバンクオリジナルデザイン

QUOカード 5,000円分

応募条件 / 給与受取口座の新規指定

【対象者】期間中に当企画への申込があるとともに、2018年2月から6月に新たにJAで給与受取口座を指定し、いずれかの月において5万円以上の給与のお受取りが確認できたお客さま。
【応募方法】窓口でお渡しする専用応募ハガキまたはWebよりエントリーが必須です。

定期積金&口座新規開設で!

定期積金を一定の条件で新規ご契約
いただくと抽選で100名様に



ホクレンカタログ
ギフト5,000円相当
(送料含む)

さらに
応募者のうち初めてJAで
口座を開設されるお客さまにはもれなく
ゆめぴりかパックごはん
450g(150g×3)をプレゼント

※画像はイメージです。

応募条件 / 定期積金(1年以上)6万円以上の新規契約かつJAカードまたはその他付帯取引を契約した方・契約している方、お一人様につき1口。

【対象者】応募条件を満たしたお客さま(中途解約された場合は当選の権利を失います)
【当選発表】6月に厳正な抽選を実施のうえ、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。
※応募条件につきましては、お近くのJA窓口へお問い合わせください。

クイズに答えて!

Webからクイズにお答えいただくと
抽選で300名様に



ファイターズ ~~または~~ コンサドーレ
×
JAバンク北海道
コラボTシャツ

デザインは
届いてからの
お楽しみ!



応募方法など詳しくは
Webをご覧ください。

www.jabank-spring2018.jp



【当選発表】6月に厳正な抽選を実施のうえ、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

注意事項 / ※ご応募は個人の方に限ります。※当選後の権利の譲渡または換金することはできません。※都合により賞品の仕様や数量が変更となる場合がございます。※長期不在などでお届けできない場合は、当選を無効とする場合がございます。※当選に関する個別のお問い合わせはお受けできません。※ほかのキャンペーンとの併用はできない場合がございます。



北海道コンサドーレ札幌通帳
好評取扱い中!

詳しくは、お近くのJA窓口までお気軽にお問い合わせください。

JAバンク北海道



JAバンク北海道

<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

中春別
へきち保育園
クリスマス
コンサート



歌声とハンドベルの 音色が園内いっぱい

中春別へきち保育園第3回クリスマスコンサートが12月22日(金)、保護者が見守るなか開催されました。



最後にスペシャルゲストとして、中春別マジシャン杉谷先生が登場。「真ん中に穴の空いた緑と赤の紙、種も仕掛けもありません。紙に向かって魔法の言葉「メリークリスマス」を唱えてください」と、「メリークリスマス」と唱えると、1枚の紙から花束が現れ、子供たちは「わっ、すーい」と驚きの声とともに会場は終始大盛り上がりでした。

3番、ほし組によるダンス「恋の季節」、歌「クリスマスメドレー」。恋の季節はみなさんご存じのピンキーとキラーズの曲に乗せて、素敵な歌声とダンスを披露してくれました。

2番、はな組による歌「クリスマス・イブ」、ハンドベル「喜びの歌・きらきら星」。幕が開くと少し緊張した様子の園児たちでしたが、曲が流れると笑顔で歌い始め、一カ月程前から練習したハンドベルはとつても上手に演奏することができました。

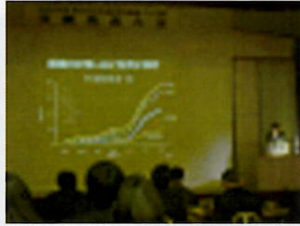
プログラム1番、ひよこ・ことり組による「サンタが街にやってくる」、「すてきなホリデイ」。すてきなホリデイでは、男の子はサンタさんの姿に変身し、ケンタッキーフライドチキンの写真を両手に持ち熱唱する姿に、思わず保護者も大笑いとなりました。



●【経営科】東北海道実績発表大会に出場

1月18日(木)～19日(金)に、東北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会が更別農業高等学校を当番校に開催されました。大会当日は十勝、釧路、根室、オホーツクから8校160人が参加し、この1年間の研究や活動の成果を発表しました。

本校は分野(特類(生産・流通・経営)、分野(酪類(開発・保全・創造)、分野(企類(ヒューマンサービス)、クラブ活動発表にそれぞれ1発表ずつ4発表を行いました。参加した4グループは惜しくも全道大会出場を逃し、悔しい思いをしましたが、他校の発表から様々なことを学び、来年度へ向けて決意を新たにしています。



発表の様子

今後、研究活動の充実を図り、本校のプロジェクト学習を盛り上げていきたいと思えます。

●【経営科】ミルク&ナチュラルチーズフェア2018に参加

1月21日(日)に帯広藤丸百貨店にて、ミルク&ナチュラルチーズフェア2018が開催されました。このフェアは牛乳普及協会の主催で、牛乳や乳製品の消費拡大を目的に開催されており、本校からは2人の生徒が参加し、実習で製造したゴーダチーズ、ストリングチーズ、ヨーグルトを販売しました。

本校は牛舎を持たないため、乳製品の原料をどのように調達するかが課題となっていました。が、「部分委託の直接販売」という制度を活用し、地域の農家の方から原料乳を購入させていただき、今年度から本格的に製造・販売を開始しまし



販売の様子



学習内容をプレゼン中

た。用意したチーズ、ヨーグルトは好評をいただき、完売しました。また、付帯イベントの一つとして行われた活動紹介の時間には、別海町の酪農や、本校の乳加工などの取り組みを多くの来場された方に紹介しました。また、道内各地から出店された他の工場の製品を間近に見て生徒は大いに刺激を受けていました。今後も、乳製品の製造研究を進め、別海町の酪農の振興に貢献していきます。

●【専攻科】冬季交通安全講習会

12月25日(月)、別海町農漁村広場駐車場にて中標津自動車学校山田敏広様のご指導のもと冬道講習を開催しました。当日は、路面に雪が無く雨が降っている悪条件でしたが、路面が濡れている状況下でのパイロンを用いたハンドリング練習や急ブレーキでの制動距離の確認を行いました。学生からは、ハンドリングが難しかった、冬道で思い切って急ブレーキを踏むことは少ないため勉強になったとの声がかれました。



冬季交通安全講習会の様子



冬季交通安全講習会の様子

●【専攻科】全道青年農業者会議へ参加

1月18日(木)～19日(金)に札幌市・自治労会館にて、全道青年農業者会議が行われました。農業経営や地域活動に積極的に取り組んでいる青年農業者が、自ら体験したことを通じて日頃考えていること等について発表するアグリメッセージ部門と仲間と共に取り組んだ研究成果を発表するプロジェクト部門があります。専攻科からは、1年目学生田中祥太さんがアグリメッセージ部門に出場し、「牛と人のしあわせな関係」と題して、牛と人が互いを尊重しあい幸せな関係を築きながら仕事を行うという考えをアニマルウェルフェア(家畜福祉・快適性に配慮した家畜の飼養管理)の視点より発表しました。残念ながら入賞は逃しましたが、本人は「全体的にとってもレベルの高い発表だった。私も更に勉強して、酪農で高みを目指したい」と充実した表情で語ってくれました。また、1月18日(木)には交流会があり、北海道各地からの参加者と親睦を深め、互いの地域や農業経営について語り合う良い機会になりました。



アグリメッセージ発表の様子



交流会の様子

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

昨年11月21日に札幌市で開催した「JA北海道大会実践フォーラム」では、JA北海道大会（平成27年開催）の決議事項の実践機運を高めることを目的に、「新規担い手倍増」と「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりと准組合員制度」をテーマに取り上げ、JAの実践事例発表とパネルディスカッションにより、「担い手受け入れへの地域合意形成」と「准組合員との関係強化」の大切さなどを再認識する場となりました。



JAによる事例発表の様子

JA北海道信連

昨年11月に



「食」と「農」をテーマに開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」に参加しました。当日は、キャンペーンチラシの配布などでJAバンク北海道や「ドローン貯蓄バンク北海道」「ドローン貯蓄バンク」を予約された方に「ちよりスブランケット」をプレゼントしました。今後も積極的にイベントなどへ参加し、JAバンクのPRを通じて、サポーターづくりに取り組んで参ります。

ホクレン

道産牛乳・乳製品の消費

拡大を目的に酪農家の拠出金で継続的に実施している「ミルクランド北海道」事業の一環として、東京都武蔵野市吉祥寺の商業施設「コピス吉祥寺」に期間限定ショップ「MILKLAND TOKYO」(平成29年11月15日～平成30年3月25日)を開催し、北海道酪農を広くPRしております。会場では北海道の酪農家を実際に訪れ、来場者と交流するイベントも毎月開催しています。



JA共済連北海道

2月5日から12日まで開催され

る「第69回さっぽろ雪まつり」7丁目会場にて、平成29年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品65点を展示します。

JAとJA共済連北海道は、交通ルールの大切さや交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの作品を通して、交通事故防止の意識づくりにつなげたいと考えています。



昨年の会場の様子

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様

の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。



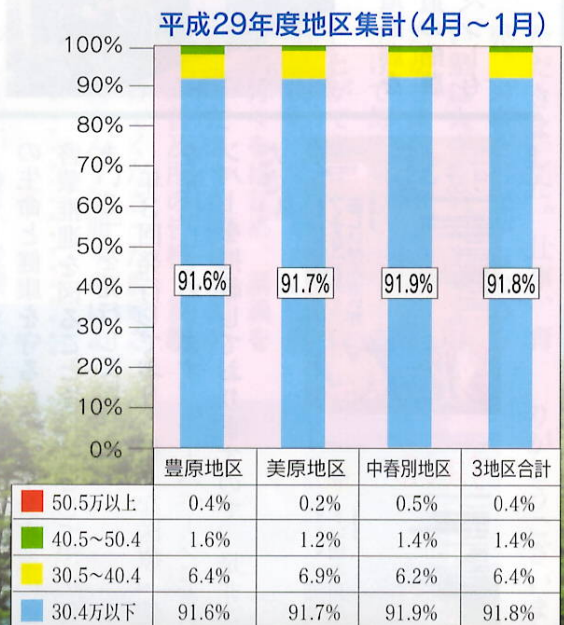
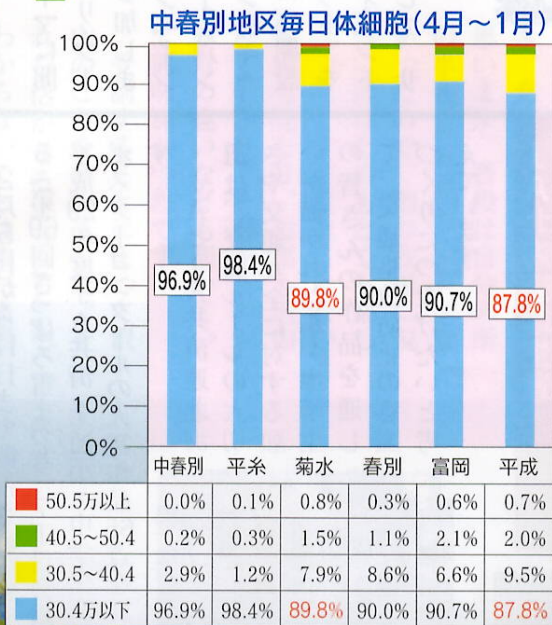
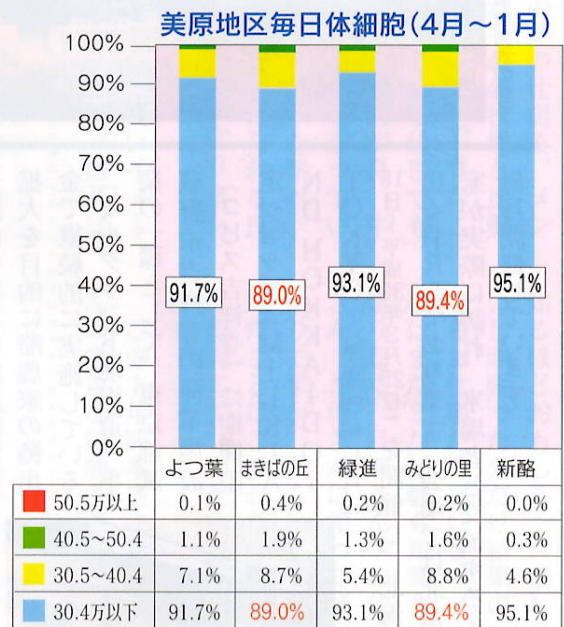
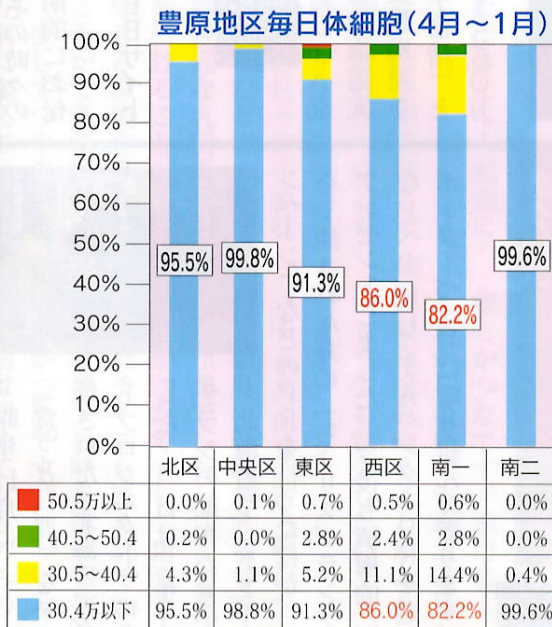


生乳汚染事故を無くそう！

- **抗生物質混入事故**.....JA中春別発生件数 **1**件 管内合計では**7**件です。
- **生菌による汚染事故**.....JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- **異物混入、加水、血乳**による汚染事故..... JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- **異臭、異常風味**による汚染事故..... JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。

明るい牛舎は作業意欲の向上と採食行動にも良い影響を与えます。
牛舎内の照明器具の点検と清掃を行いましょう。

良質生乳生産推進委員からの標語



第11回 理事会の動き

平成30年1月25日(木)

議案

1. 平成29年度自己査定に係る債務者区分判定方法について
2. 出資金の減口について
3. 出資金の譲渡について
4. クミカン取引名義変更について
5. 平成30営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
6. 平成30営農年度特定指導組合員及び月別限度管理組合員(案)について
7. 畜産担い手総合整備事業(再編整備事業)について
8. 生乳受託販売規程の改正について
9. 生乳集乳業務実施要領の改正について

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 組合員の加入について
3. 平成29年度12月末財務状況について
4. 平成29年度12月末購買事業実績について
5. 平成29年度飼料奨励金(農協利用奨励・大口取引奨励)の支出について
6. JAバンク北海道冬期特別推進運動冬のキャンペーンの実績について
7. 平成29年度12月末営農生産関連実績について
8. 平成29営農年度クミカン精算状況について
9. 平成30営農年度階層区分について
10. 平成29年度自給飼料生産性向上対策事業に係る実績について
11. 別海北部地区国営かんがい排水事業について
12. 災害復旧特別資金の貸付について

12月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

12月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		913.850		37.28	36.85	0.43	
無脂乳固形分		579.023		51.21	50.63	0.58	
補給金(脱バ・チーズ・生クリーム)		8.2510		8.25	6.36	1.89	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	310,084,601.1kg	3.75	3.74	0.01
		ランク2	0	7,587,688.3kg			
		ランク3	-3	495,002.4kg			
	体細胞数	ランク1	2	282,663,350.3kg			
		ランク2	1	17,909,458.3kg			
		ランク3	-2	4,668,333.0			
合計				100.49	97.58	2.91	

項目	単価(円)/(kg) %
乳脂肪分①	37円28銭
無脂乳固形分②	51円21銭
補給金③チーズ奨励金④	8円25銭
脂肪率	全道 4.08%
	農協 4.13%
無脂固形分率	全道 8.84%
	農協 8.81%
成分乳価	全道 96円74銭
①+②+③+④=⑤	農協 97円04銭
乳質乳価	全道 3円75銭
⑥	農協 3円76銭
乳代合計	全道 100円49銭
	農協 100円80銭
⑤+⑥	差異 0円31銭

組合員の広場



作品名「流水」青野一枝さん



作品名「オニワルの入江」青野一枝さん

今月号の組合員の広場は「和紙絵香彩会」の作品を掲載いたしました。組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。